

(7) 資金計画

資金計画とは、創業するのにいくら必要で、その資金をどう調達するのかを検討する計画のことをいいます。必要な資金のチェックポイントや調達方法の豆知識などをみてみましょう。

必要な資金の チェックポイント		調達方法の 豆知識
設備資金	店舗、工場、機械、車両など ✓ 取得予定の設備について複数社から見積を取得し金額を吟味しているか ✓ 中古品の購入などにより初期投資を抑えられないか ✓ 購入だけでなく、リースやレンタルを検討しているか ✓ 考慮すべき設備（例：什器・備品、看板、レジなど）に不足はないか	自己資金 ■ 自己資金は着実に蓄積することが重要 ■ 自己資金の割合が高いほど、借入の割合は低くなり、余裕をもった資金繰りが可能 参考 調達総額に占める自己資金の割合 平均 24.5% (日本公庫 新規開業実態調査)
	商品仕入、経費支払資金など ✓ 事業が黒字化し資金繰りが安定化するまでの運転資金を見積っているか ✓ 販売先からの入金条件と仕入・外注先への出金条件を踏まえ、運転資金を見積っているか 参考 黒字化にかかった期間 平均 6.5ヵ月 (日本公庫 新規開業実態調査)	親、兄弟、知人、友人等からの借入 ■ 創業計画を説明して賛同を得ることができれば、資金を融通してもらえる可能性あり ■ 長期の返済を認めてもらえるなど、理想的な条件を組みやすく、最も頼れる先 金融機関等からの借入 ■ 事業を成長させるうえで、金融機関との取引は欠かせない ■ 都道府県や市区町村が実施する制度融資も充実 ■ 詳しくは、創業予定地の自治体のホームページなどを確認

その他の資金調達方法

補助金

返済不要（原則）の資金です。精算払いや補助率が設けられているなど、一定の制約があります。詳しくは、中小機構のJ-Net21などで確認してください。

クラウドファンディング

自分の想いを発信して共感してくれた方や応援したいと思ってくれた方から資金を募る仕組みで、テストマーケティングにも使えるなどのメリットがあります。

出資

ベンチャーキャピタルなどから資金の提供を受ける返済不要（原則）の資金です。見返りとして株式の提供などが基本で、研究開発などで成果が出るまで一定の期間を要するスタートアップなど、融資が馴染まない場合に利用されるのが一般的です。一方で、出資を受けるには一定の時間を要するケースがあるため、ケースに応じて融資の利用を検討することも必要です。

Let's try !

必要な資金		見積先	金額	調達の方法	金額
設備資金	店舗、工場、機械、車両など (内訳)		万円	自己資金	万円
				親、兄弟、知人、友人等からの借入 (内訳・返済方法)	万円
				日本政策金融公庫 国民生活事業 からの借入	万円
運転資金	商品仕入、経費支払資金など (内訳)		万円	他の金融機関等からの借入 (内訳・返済方法)	万円
合計			万円	合計	万円

金額は一致します。

※ 日本公庫の創業計画書（P.8）を作成する場合は、「8 必要な資金と調達方法」に適宜転記してください。